

2016年12月16日

国立大学法人三重大学  
学長 駒田 美弘 様  
三重大学教職員組合

中央執行委員長 小田 敦子

## 団体交渉申し入れ書

平素は、三重大学教職員組合の活動に対し、ご理解とご協力を頂き、誠に有難うございます。

さて、この度、当労働組合は、下記の項目について団体交渉を申し入れたく存じます。交渉の内容、日程、出席者等につきましては、事前に協議させていただきますが、可能な限り速やかな開催を希望致します。

### 1. 組合との団体交渉について

昨年、一昨年度と組合との団体交渉において、議事録の調印がなされておりません。たとえ妥結に至らなくとも、その段階での双方の意見を記録し、それを相互に確認することは非常に重要であると考えます。このままでは、毎年「言った、言わない」などのくだらない議論の繰り返しで、無駄に時間を費やしてしまうことが懸念されます。お互いに貴重な時間を費やして議論するわけですから、交渉時点での共通認識や双方の意見・考え方を記録することにより、次の年度の交渉がスムーズに進むよう議事録に調印されることを強く要求いたします。

### 2. 大学の全体構想について

第3期中期目標・中期計画が策定されましたが、以下の質問にお答えください。

- (1) 中期目標に「本学が取り組むすべての分野においてイノベーションを推進し、地域の活性化・創生を目指す。」とあります。これについて、学長の見解と具体的な展望をお聞かせください。
- (2) 中期目標に「(教職員人事) 大学運営の専門職能集団及び教育研究活動等の機能強化を図るため、教職員の人事・給与制度の弾力化等の人事給与システム改革を行う。」とあります。これについては、給与削減、人員削減、雇用の切り捨て等の労働条件の改悪が懸念されるところです。現に、各学部において教員人事の凍結や非正規教員の増大などの問題が発生しています。地域の期待に応えるように研究と教育を充実させ、同時に現在の授業カリキュラムを維持することに関して、学長の見解をお聞かせください。
- (3) 伊賀地域と東紀州地域に設置するサテライト（地域拠点）では、どのような人員配置になるのでしょうか。日常の研究や教育活動に障害が発生しうるような配置転換計画が示されるならば、教員の間で不安感が増大し、教育活動への影響が懸念されます。この点について学長の見解をお聞かせください。

- (4) 中期計画に「地域に貢献する大学としての使命を果たすため、... (中略)... 「三重創生ファンタジスタ」の資格を認定する副専攻制度を立ち上げ、三重のイノベーションを推進する人材を育成する。」とありますが、「三重創生ファンタジスタ」の現状と将来展望について、学長の見解をお聞かせください。
- (5) 中期計画に「学生の就職・採用活動の支援のために、就職情報の提供、就職活動やインターンシップに関する支援を拡充し、... (中略)... 地域課題に関する授業の展開や地域の自治体及び企業等との各種連携活動を通じて、学部学生の地元企業への就職率を平成26年度実績と比較し、10%増加させる。」とありますが、この目標値は高すぎませんか。また、学生がどこに就職したかは学生の自由です。三重県への就職率向上を大学の目標に設定すると、目標を達成するために不必要に三重県内への就職を斡旋し、学生の職業選択の自由を侵害することが懸念されます。この点に関する学長の見解をお聞かせください。
- (6) 中期計画に「若手教員においては比率20%以上、外国人教員においては比率4%以上を達成する。」や、「年俸制の推進やクロスアポイントメント制度の導入等弾力的な給与制度による教員採用を推進し、年俸制教員においては承継内の10%を継続的に確保するとともに、テニュアトラック制度を更に推進し、教育研究を活性化させる。」とあります。年俸制、クロスアポイントメント制度、およびテニュアトラック制度等を利用した非正規雇用の拡充については、かねてより当組合は、導入の意義を問い合わせ、その問題点などを指摘しております。これらにつきまして、今一度学長の見解をお聞かせください。
- (7) 先日の台風16号により大学病院の一部が浸水しました。三重大学病院は防災拠点の中核の一つですが、このような状況で果たしてきちんと防災拠点の役割を果たせるのでしょうか。また、講堂横のPCB保管施設に貯蔵されているPCB廃棄物の周辺への流出が懸念されます。想定最大降水量など、雨水害対策の具体的な数字をお聞かせください。と同時に、PCB廃棄物の早期処理と施設の強化も含めた雨水害への対策を求めます。
- (8) 学内の水道水の炭酸カルシウムやケイ酸塩などによる沈殿が、引き続き問題となっています。この点当局は昨年度の回答で、「水道水については、水道法に定める項目を年4回（法律では年1回）測定し、基準値以下であることを確認しているため、追加の対策は行っておりません」と答えています。しかしながら、これはあくまでも法定基準値以下であることの説明にとどまるものであり、現在のリスクレベルがどの程度であるのかの説明になっていません。この点、正確なリスクレベルをご提示ください。
- (9) 今年の春頃に、学外とのインターネットへの接続が不安定になる事象が何度か発生しました。学生の就職活動においてインターネット上でのWebエントリーも増えている状況で、学内LANとインターネットへの接続の安定化について、学長の見解をお聞かせください。
- (10) アクティブ・ラーニング型の授業の拡充を謳っていますが、教員が授業コンテンツを作成する際のツールを提供するなどの支援体制はどのようになっているかについて、学長の見解をお聞

かしてください。

- (11) 今後、運営費交付金の削減に伴い、文部科学省が自己収入比率を50%まで増やすように求めています。このような状況では授業料の値上げにつながるものが危惧されます。給付型奨学金が少ない現状では、授業料の値上げは学生の財政負担を増大させることとなります。学長は授業料の値上げや学生の財政負担軽減についてどのような見解をお持ちかお聞かせください。

### 3. 労働条件について

- (1) 地域手当の全額(6%)支給を要求します。
- (2) 去る8月8日に人事院が俸給引き上げを勧告し、政府も10月14日に人事院勧告の完全実施を給与関係閣僚会議と閣議で決めました。この人勧にもとづく給与の改善を要求します。教職員の給与改定の時期とどの程度反映されるのかについてお答えください。
- (3) 2016年人事院勧告で打ち出された配偶者扶養手当の削減をしないように求めます。
- (4) 2016年8月22日付け「国立三重大学無期労働契約転換者に関する規程に関するお問い合わせ」に対する回答では、「権利を有する者に対して、当局より事前に無期労働契約への申込みができる旨の告知がなされるかどうか」等の重要な事項についての回答をいただいております。この件に関しては、全国の大学で雇い止めが急増することが懸念されています。権利を有する三重大学教職員に対して不利益が生じないよう強く希望するところです。この件に関して学長の見解をお聞かせください。
- (5) 2016年3月の無期労働契約転換者に関する規程4条の2第2号でいう「2)カリキュラムの変更等により授業科目が廃止されたとき」との規定の廃止を要求します。
- (6) 事務職員が適正なバランスで配置されていないため、部局によっては教員が物品入力しなければならぬなど教育研究活動に支障をきたしている場合があります。また、エアコンなどの高額物品が故障した場合、研究費で修理や購入に要する費用を賄わねばならず、乏しい研究費ではその年の研究活動がままならなくなります。大学全体として財源が限られている状況は理解できますが、そのなかで人件費、教育研究費、施設整備費にどのような優先順位、バランスを考えて運用しているのかについて学長の見解をお聞かせください。
- (7) 成績優秀な教室系技術職員について前任技術専門員への昇格を要求します。  
技術職員は自身の持っている専門技術・知識をもとに大学に貢献しており、また日々その技術・知識向上に努めています。本学には技術員、技術専門員の上位に前任技術専門員の規定があるにもかかわらず、長年の間、前任技術職員への昇格が行われていません。他大学では昇格基準が公開され、前任技術専門員に昇格されておられます。このことが技術職員のモチベーションの維持を困難にしていると考えます。前任技術専門員昇格への資格条件を公開するとともに、

規定があるにもかかわらず三重大で前任技術専門員が採用されていない理由について学長の見解をお聞かせください。

(8) 技術職再雇用の待遇について

一般職員の再雇用についてお尋ねします。一部の職員から三重大は他大学と比べ賃金水準が低いとの声があります。これが事実であるならその状況の改善を求めます。

三重大で実施している一般職員の再雇用と特任一般職員の給与水準（時間給および勤務時間上限、1月あたりの平均給与）の開示を求めます。また、再雇用された一般職員と特任一般職員の人数の割合の公開、および特任一般職員の雇用方法についても説明を求めます。

また、技術職員が再雇用を希望し、雇用された場合、後任の新人を雇用できていないように感じます。再雇用と新人の雇用とは両立しない制度なののでしょうか？ 再雇用の熟達者がいる間に新人を雇用し、技術の継承を進めるべきと考えますが、この点に関して学長はいかがお考えでしょうか。見解をお聞かせください。

(9) THE PAGE 10月8日の報道によれば、2015年度に国立大学86大学のうち、33の大学（38%）で定年退職した教員の後任補充を凍結する人件費抑制策が取られているとのこと。三重大でも文科省から運営費交付金の減額が求められている状況において、全学的あるいは部局内で教員、事務・技術職員の雇用問題、再配置問題をどのような計画のもとに考えているのかについて学長の見解をお聞かせください。

(10) 昨年の団体交渉に際し、管理職に対する時間外手当の支給に関して、「管理監督者についても、過重労働による脳・心臓疾患等の発症を防止するため、労働時間の把握を客観的な方法等により行わなければならないことが求められており、本学においても職員の健康と福祉の確保のため、このことについて、適切な対応となるよう今後検討していきたい」との回答がなされました。この点に鑑みて、三重大における教育と研究の充実の基盤となるべき事務職員の職務の遂行とその質的向上の保障を図るべく、課長クラスの職員に対する時間外手当の支給を要求します。

#### 4. 支部固有の諸問題について

(1) 人文学部支部

- ・ 人文学部校舎の外壁が劣化しています。抜本的な対策を求めます。
- ・ 昨年全国的に問題となった、文部科学省による文系学部つぶしの方針は、いまだ撤回されていないと認識しています。この点につき、駒田学長以下の大学執行部は、人文社会科学系学部が三重大学および地域において、いかなる役割を担っていると認識されているのでしょうか。お聞かせください。

(2) 教育学部支部

- ・ 幼稚園プールの浄化装置の取り換えを要望します。実現しない場合は水中掃除機の購入を要望します。

- ・ 大学のプールの浄化装置の取り換えを要望します。実現しない場合は水中掃除機購入を要望します。
- ・ 第2体育館への製氷機の設置を要望します。(熱中症対策)
- ・ 附属小学校実習生用女子更衣室拡充を要望します。
- ・ 幼稚園遊具の点検・改修の予算化を要望します。
- ・ 幼稚園裏門への警備員配置を要望します。

### (3) 工学部支部

- ・ 工学部技術部における技術職員ポストの助教への振替について  
工学系リサーチセンターの大学教員の雇用(テニュアトラック制度による助教の採用)に当たり、技術職員の欠員ポストを充てる案が出ておりますが、人事上、正当な方法と言えるのでしょうか？ 工学部技術部構成員には計画段階からなんの説明、相談もなく、またそのような案になった経緯も未だ説明がありません。これまでの経緯の説明を求めます。  
また、テニュアトラック制度に基づく採用の場合、その期間後は審査結果によって正規教員として雇用する必要があり、この点から見ても一時しのぎのような人事措置には断固反対します。

### (3) 生物資源学部支部

- ・ 練習船勢水丸の学内LANへの接続について  
練習船勢水丸では新船の造船時にインターネットへの接続環境を整備しました。その後、出張入力などがWeb経由での入力となり、学内LANへの接続が強要されました。出張入力をWeb入力に変更される前に、当局は学外の附属施設や勢水丸のネットワーク環境を調査されましたでしょうか。  
勢水丸から学内LANへ接続する機器は生物資源学部の予算で購入し、メンテナンスも1名の教員により行われています。先日も通信障害が発生した際には、土曜日にも関わらず松阪港に停泊している勢水丸に赴き、障害対応の作業を行っております。本来、学内LANへの接続手段は学部ではなく大学当局により確保されるべきであり、早急に対応するよう要求します。
- ・ 事務用ファイルサーバについて  
生物資源学部では事務用LAN内に総務および教務用のデータを保存するファイルサーバを2台保有しております。先日そのうちの1台が故障し、復旧に1週間ほど時間を要しました。部局のネットワーク担当者は教員が努めており、事務用LANには直接入ることができません。教員がボランティアで事務用のサーバを管理するのはおかしいと思います。他の部局でも業務で使用するデータを保管するファイルサーバの見積もりを取ったところ、100万円程度と非常に高額な値段となったと聞いております。サーバの管理コストの削減とメンテナンスの責任が明確化されますので、せつかく研究用LANと事務用LANに分離したのですから、各部局のファイルサーバを事務局で一括管理されることを要求します。